

小中一貫教育校だより

「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」の開校に向けて

平成23年4月の開校まで、あと6ヶ月となりました。今回の小中一貫教育校だよりでは、推進委員会、資料作成委員会や学校における検討・準備状況をお知らせします。保護者や地域の皆様のご理解・ご協力を引き続き、よろしくお願い申し上げます。

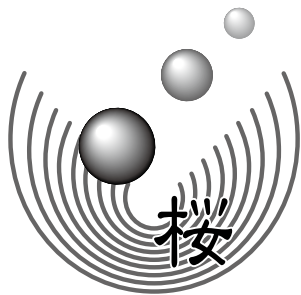
なお、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」につきましては、大泉学園桜小学校および大泉学園桜中学校の小中一貫教育校の名称として、「練馬区立学校の管理運営に関する規則」に定められました。

◆統一校章が完成しました

統一校章につきましては、8月30日開催の第14回推進委員会および9月10日開催の第15回推進委員会において、委員や学校の意向に基づいて作成された図案について検討しました。委員の主な意見等は、次のとおりです。

- 斬新で、とてもすてきだなという印象をもった。
- 新しい時代の学校というイメージが良い。
- 今まで練馬区になかったような校章でとてもおもしろく斬新だと思う。

推進委員会で検討して決定した図案について、学校と調整のうえ補正を行い、次の校章に決まりました。



《コンセプト》

9つのラインは、9年間の成長していく過程を木の年輪に重ねたもので、3つの球体は、1年生～4年生・5年生～7年生・8年生～9年生へのステップと無限に広がる可能性、宇宙空間を表現しています。

◆統一校歌の検討について

統一校歌につきましては、9月10日開催の第15回推進委員会において、児童・生徒の「校歌に入れたい言葉」の募集結果と教職員の意見を参考に検討しました。大泉学園桜小学校および大泉学園桜中学校の児童・生徒から245件の応募がありました。応募件数の多かったものは、次のとおりです。

- ①桜（84件） ②元気（11件） ③未来（10件）

また、委員から次のような意見が出されました。

- 9年間の児童生徒の成長のイメージが表現できると良い。
- 文語調の言葉は、使わないでほしい。
- 1年生から9年生まで歌うので、部分的に2部合唱で歌えると良い。

推進委員会では、出された委員の意見などを踏まえて、校歌に関する考え方を学校と調整のうえ整理し、校歌制作者に伝えることとしました。また、児童・生徒の思いなどを伝えるため、「校歌に入れたい言葉」の募集結果などを参考資料として渡すこととしました。

なお、統一校歌は、校歌制作者を学校と調整のうえ決めることとし、平成23年1月までに完成するよう準備を進めることになりました。

◆標準服が決まりました

第15回推進委員会において、「小中一貫教育校標準服検討委員会」における、児童・生徒、保護者、教職員への標準服に関するアンケート結果を踏まえた検討結果の報告がありました。

小中一貫教育校の標準服は、ブレザーは紺色、スカート・ズボンはグレーのチェック柄とすることが確認されました。

なお、ボタンやベストなどについては、標準服検討委員会での意見を参考に学校で決めていきます。

1年生～4年生



5年生～9年生



◆小中一貫教育資料作成委員会の経過報告

第15回推進委員会において、小中一貫教育資料の概要報告がありました。

〔ねらい〕

小中一貫教育資料は、9年間にわたる一貫した指導資料として作成しており、練馬区立小中一貫教育校が編成する教育課程の中で活用するものです。作成にあたっては、学習指導要領に準拠しながら、練馬区の児童・生徒が抱える教育課題に着目して、「表現力の育成」、「心の教育の推進」、「体力の向上」、「キャリア教育の推進」について、9年間でⅠ期（1～4年）、Ⅱ期（5～7年）、Ⅲ期（8～9年）のまとまりに分け、発達段階に応じて、目指す子供像の達成のための学習内容と学習方法を提案します。

〔構成〕

本資料は、教師用資料と児童生徒用資料で構成します。

- ①教師用資料…教員が授業を行うための学習指導案集
- ②児童生徒用資料…授業で用いるワークシートや資料の電子データをまとめたCD-ROM

〔活用方法〕

- ①教師用資料…小中一貫教育校は、各部会が提案する9年間の指導プランを該当学年の道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の年間指導計画に位置づけて活用します。
- ②児童生徒用資料…教師用の学習指導案をもとに授業を進める際に、CD-ROMから授業に必要なワークシート等をプリントアウトして活用します。

〈委員の主な意見〉

- 部活動や職場体験は現在行っているので、キャリア教育の推進にもっと新しいことを取り込んだらどうか。
- 緑小の児童は、Ⅱ期の途中から桜中に入学することになるが、その際に違和感はあるのか。
⇒小中一貫教育校の教育課程は、他の小・中学校と同様、学習指導要領に準拠して編成しますので、学習する上で特に問題は生じません。

◇小中一貫教育資料は、小中一貫教育校における教育課程編成に活用するとともに、他の区立小・中学校にも資料を提供し、小中一貫・連携教育の推進に役立てていきます。

大泉桜学園の教育

教育目標

桜学精神

・教育目標を実現するための三つの指針

5年生～9年生	桜の花よりも 華ある人	桜の花よりも 時機を知る人	桜の花よりも 愛される人
1年生～4年生	元 気	チャレンジ	思いやり

・三つの指針の考え方

- 第一に、華ある人とは、自分の良さを発揮して他の人と共に幸せに生きようと心がけることで成し得ることができ、元気であることが基本となる。
- 第二に、満開の桜の花は美しく、咲く時機（チャンスとタイミング）を心得ているかのようである。また、木枯らし吹く寒さの頃に、既に花のつぼみはある。苦難の時を越え、新たな大地を開拓するようなチャレンジの大切さを言う。
- 第三に、桜の木の存在は人々に潤いと癒しをもたらしてくれる。自分の命の役割を自覚し自らの存在を大切にしていける児童生徒は、周囲の人々に対しても思いやりの姿勢を示せるものである。

学校経営体制等

- 校長1名・副校長3名で一元的な学校経営を行います。
- 小・中学校合同職員室により、全教職員の連絡・連携体制を整え、協力して教育活動を行います。

きめこまかな学習活動

- 言語能力を高める教育活動
我が国の伝統文化、とりわけ古典の学習を充実させる。全学年で保護者・地域と共に百人一首に取り組み、豊かな語彙力・感性を育てます。
- 外国語活動の充実
3年生から外国語活動を行います。
- 少人数指導の充実
児童・生徒の習熟度に応じた指導を行うため、少人数指導を充実させます。
- 5・6年生からの一部教科担任制による指導の充実
中学校の教科担任制へのスムーズな移行や学習内容のより一層の充実を目指し、理科と社会で教科担任制を取り入れます。
- その日の授業はその日の内に分かるまで教える学校
児童・生徒の学習のつまずきに対応し、放課後個別学習室で補習活動を充実させます。

異年齢集団活動や体験活動を重視した教育活動

- 異年齢集団活動…入学式、卒業式、始業式、終業式、運動会、桜祭（学芸発表会）、学習発表会などの複数学年合同行事を行って、豊かな人間性や社会性を育成します。
- 稲作の本物体験…学校の小さな田んぼから世界につながるグローバルな意識を育成します。

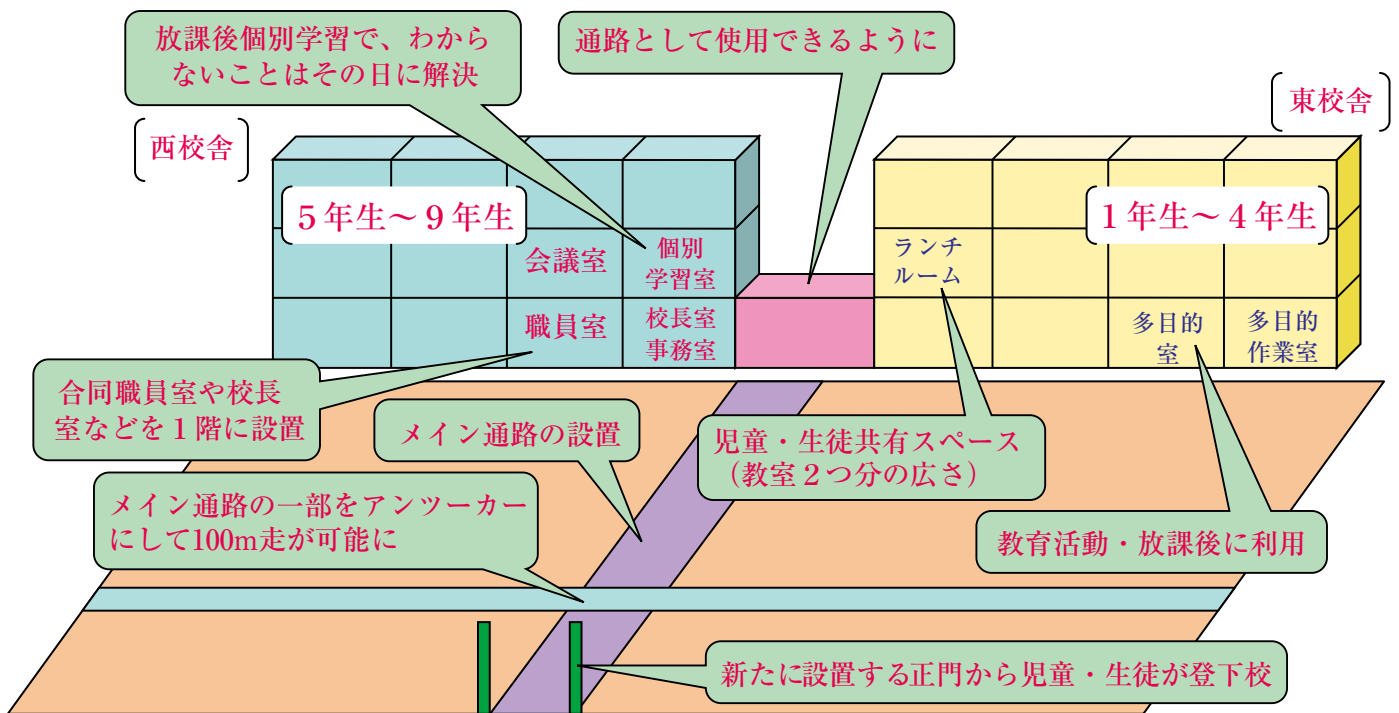
5年生から参加できる部活動

5年生～9年生

サッカー（男女）、バレーボール（女）、硬式テニス（男女）、バドミントン（男女）、剣道（男女）、ソフトボール（女）、野球（男女）、バスケットボール（男女）、吹奏楽（男女）、美術（男女）、英語（男女）

※本たよりに掲載した大泉桜学園の教育は、平成22年10月1日現在の検討状況に基づくものであり、一部変更することがありますので、ご了承ください。

主な施設改修



練馬区立小中一貫教育校推進委員会事務局

練馬区教育委員会 学校教育部 新しい学校づくり担当課・教育指導課
 TEL：03-5984-1065 FAX：03-3993-1196
<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/atarashi/index.html>
 ※推進委員会の資料・要点記録は、大泉学園桜小学校、大泉学園桜中学校、大泉学園緑小学校および新しい学校づくり担当課（区役所本庁舎12階）で閲覧できます。

推進委員会（第16回）の開催予定

日時：11月1日（月）14時00分～
 場所：大泉学園桜中学校（2階 多目的室）
 案件：小中一貫教育校実施計画（案）の検討
 ※傍聴をご希望の方は、直接会場へお越しください。